

第4次白岡市男女共同参画プランに  
掲げる施策推進のための取組に係る  
令和元年度事業実績報告書

地域振興課

## 第4次白岡市男女共同参画プランに掲げる施策推進のための取組に係る令和元年度事業実績報告

### 基本目標1 男女共同参画の意識づくり

#### 主要課題1 男女平等意識の浸透と定着

##### (1) 固定的な性別役割分担意識の解消

番号	施策名	事業内容	当初担当課	報告課	令和元年度実績報告(内容・効果、実施日、参加者数、意識・配慮、反省点等) ※未実施の場合は、その理由を記入してください。	意識・配慮度		達成度
						①	②	
1	男女共同参画の視点に立った社会通念・慣行の見直し	固定的な性別役割分担意識に基づく家庭や地域における慣習、社会制度の是正に向け、市民・事業者に向けた啓発・情報提供を行います。	全庁	秘書広報課	○広報しらおか(令和元年9月20、200部発行)の特集(乳がん検診)において、男性保健師を登壇させ、男女の多様なイメージの浸透に努めた。 ○広報しらおか(令和元年9月20、200部発行、令和2年3月号20、200部発行)で、男女共同参画の視点に立った記事「ハーブティ」を掲載した。	○	○	B
			地域振興課	地域振興課	○性別役割分担意識にとらわれない意識が浸透するよう、広報紙・パネル展等において、意識啓発を行った。 ・男女共同参画パネル展 年5回実施 市民ラウンジにおいて、「日本の女性はどうか？」(6/18～6/24)、「荻野吟子の生涯」(7/23～8/2)、「男女共同参画の視点から考える表現ガイド」(9/18～9/27)、「知っていますか？ デートDV」(11/14～11/25)、「災害と男女共同参画」(3/3～3/13)を展示した。	○	○	B

##### (2) 男女共同参画の視点に立った情報の提供、広報活動の充実

番号	施策名	事業内容	当初担当課	報告課	令和元年度実績報告(内容・効果、実施日、参加者数、意識・配慮、反省点等) ※未実施の場合は、その理由を記入してください。	意識・配慮度		達成度
						①	②	
2	男女共同参画に関する啓発の充実	家庭、地域、職場等における男女平等や男女共同参画に関する意識啓発、情報提供をさらに進めるために、市民の編集委員によるしらおか男女共生広報紙「ハーブティ」の発行や啓発活動を継続的にを行います。	地域振興課	地域振興課	○公募編集委員による広報紙「ハーブティ」を発行し、さらなる男女共同参画の意識啓発、情報提供を行った。 ・広報しらおか9月号に第42号「ゴミ出していますか？」を掲載し、3月号に第43号「育児を楽しむ」を掲載した。	○	○	A
3	男女共同参画に関する講座・講演会等の実施	男女共同参画意識の啓発、男女共同参画社会への理解を深めるための講座等を実施し、だれもが参加しやすい学習機会の提供に努めます。	地域振興課	地域振興課	○男女共生セミナーを開催し、男女共同参画の周知、意識啓発を図った。 ・開催日 2月2日(日) 講師:声優・俳優 増岡弘氏 テーマ「声優・増岡流 こぼれのプレゼント 男女共同参画の話」参加者141名 ・セミナー開催に際して、一時保育を実施した。利用件数4件(子ども5名)	○	○	B
4	男女平等・共同参画の視点に立った表現の配慮	社会的性別(ジェンダー)などの固定観念にとらわれず男女の多様なイメージが浸透するように、市が作成する広報紙、ポスター、チラシ、ホームページ等の表現に留意するよう努めます。	全庁	議会事務局	○議会だよりに使用するイラスト等に配慮した。	○	-	B
				教育指導課	○学校から発出される文書や学校ホームページでの表現等について、男女平等の観点から誤解を招かない表現を行うよう通知した。	○	-	B
			地域振興課	地域振興課	○ポスター・チラシの作成、『ハーブティ』の発行等の際には、男女のいずれかに偏った表現やイラストにならないよう配慮し、男女の多様なイメージが浸透するよう努めた。	○	○	B
5	男女共同参画に関する調査研究・情報提供の充実	男女共同参画に関する市内の現状を把握し、新たな課題解決を図るための調査研究を行います。また、ジェンダー統計の導入や市民のニーズに即した資料・情報収集の充実を図ります。	地域振興課	地域振興課	○男女共同参画プランの推進に係る取組の実績や審議会等への女性委員の参画状況等について全庁に照会し、情報収集を行い、結果について全庁に報告した。	○	○	B
6	メディア・リテラシーの育成	各種講座の開催や広報紙の活用、さらに教育機関と連携しながら、メディアからの情報を主体的に読み解く力の育成に取り組みます。	地域振興課	地域振興課	○『ハーブティ』発行に際し、わかりやすい情報提供に努めた。 ○男女共同参画パネル展において、情報提供を行った。 9/18～9/27市民ラウンジにおいて「男女共同参画の視点から考える表現ガイド」を展示した。	○	○	B
			教育指導課	教育指導課	○校長会及び教頭会にて、管理職及び教員(情報教育主任)を対象として情報モラル(ライン、SNSを含む)の啓発を図ることができた。 ○児童生徒を対象とした情報モラルを学ぶ機会を計画し、実施した。(非行防止教室等) ○県主催の研修会等の通知を行うとともに教職員の参加を積極的に促すことができた。	○	○	B

主要課題2 男女平等・人権尊重教育の推進  
 (1)小・中学校教育における男女平等・人権尊重教育の推進

番号	施策名	事業内容	当初担当課	報告課	令和元年度実績報告(内容・効果、実施日、参加者数、意識・配慮、反省点等) ※未実施の場合は、その理由を記入してください。	意識・配慮度		達成度
						①	②	
7	人権教育全体計画等の見直しと実践	各学校の人権教育全体計画、人権教育の視点を明確にした年間指導計画を男女平等教育の充実の視点で見直し実践します。	教育指導課	教育指導課	○今年度も人権教育全体計画及び年間計画の見直しを行った。人権教育の計画をもとにし、人権教育上の視点を取り入れた授業実践を行った。 ○家庭教育学級など、学校・家庭・地域との連携を図った人権教育の実践を進めることができた。	○	-	B
8	個性・適性を尊重した進路指導・活動指導の充実	児童・生徒が性別にとらわれず、個性や適性に応じて主体的に将来の進路を選択できるような指導を充実します。また、授業や委員会活動、課外活動において、固定的役割分担をなくし、個性を生かして男女が対等の立場でともに学び合えるよう継続的に指導します。	教育指導課	教育指導課	○幼小小連携については、各ブロックにて学期に1回ずつ全5ブロックで交流会や授業参観を実施した。 ○白岡市幼小小連携体制事業に基づき、全2回の幼小小合同連絡会を実施した。(①5月22日②1月22日) ○市内すべての中学校で1年生または2年生を対象にし、職場体験を実施した。 ○企画政策課との協働により「ユメ先生」プロジェクトを全小学校で行った。 ○令和元年度白岡中学校においてキャリア教育についての研究及び発表を行った。	○	-	B
9	男女平等の視点に立った教材・資料等の点検と活用	教材や資料等は性別によって固定した色を使わないなど、男女平等の視点に立って点検・検討を行います。また、男女平等教育の資料の収集、整理、情報提供を進め積極的に活用します。	教育指導課	教育指導課	○特別の教科道徳や特別活動の授業を中心とし、学校教育全体で男女平等教育の推進を行った。 ○県主催の男女平等教育に関する研修会等、参加可能な研修会の情報提供を行った。	○	○	B
10	人権尊重に基づいた性教育の充実	男女が互いの性を理解・尊重し、一人ひとりの人間を大切にすることを体得できるよう、心身の発達に応じた適切な性教育の充実を図ります。	教育指導課	教育指導課	○児童生徒の性差やLGBTについての教育を充実させるため、文科省や県発行の文書等を学校に提供することで、教職員の理解促進と意識の向上を図った。 ○小学校では第3学年から体育(保健)の学習の中で心身の発達の違いを学習した。	○	○	B
11	教職員、保育士等への研修の充実	子どもや児童・生徒に大きな影響を持つ保育士や教職員の男女平等・人権意識をさらに高めるために、それぞれの場で研修や勉強会を通じて理解促進を図ります。	教育指導課	教育指導課	○東部地区の学校・家庭・地域連携実践発表会に、市内の小学校3校、中学校2校が参加した(実施日11月27日) ○管理職対象の同和教育研修会を実施した。(8月20日山中集会所にて実施) ○青我小・中による同和教育研修会(4月4日青我中学校にて実施) ○令和元年度第28回埼玉人権のつどいへの職員の参加(教育指導課より2名、市内の校長も参加)	○	○	B
			子育て支援課	保育課	○保育士や学童支援員の男女平等・人権意識をさらに高め、それぞれの場で実践力をつけるために、男女平等・人権尊重教育の研修を通じて理解促進を図った。 ・全国人権保育研究集会／保育士出席 ・人権・同和問題職員研修会／保育士、学童支援員出席	○	○	B

(2)家庭や社会における男女平等・人権尊重教育の促進

番号	施策名	事業内容	当初担当課	報告課	令和元年度実績報告(内容・効果、実施日、参加者数、意識・配慮、反省点等) ※未実施の場合は、その理由を記入してください。	意識・配慮度		達成度
						①	②	
12	保護者・PTAへの意識啓発の促進	児童・生徒が性別にかかわらず自立した生き方ができるように、保護者に向けて社会的性別(ジェンダー)にとらわれない生き方・考え方の啓発を行います。また、授業の補助や下校時の見守り等、地域の人材についても引き続き活用を図っていきます。	教育指導課	教育指導課	○家庭教育学級など、学校・家庭・地域との連携を図った人権教育の実践を進めることができた。 ○学校応援団の中に様々な形のボランティア班を整備し、授業の補助やゲストティーチャーとして招いて、人権教育や地域の理解のためにお手伝いいただいた。 ○登下校時の見守り活動の充実のため、今年度初めて白岡市で「スクールガード養成講習会」を開催した。(6月14日開催)	○	○	A
13	家庭教育学級等の推進	子育て家庭において、男女ともに性別にとらわれることなく自立することの重要性を理解して、地域・社会全体で子育てを実践できるよう「地域の教育力」の向上を図ります。	生涯学習課	いきいき教育課	○家庭教育学級合同講座の実施 ・第1回家庭教育学級合同講座 5/28 講師:埼玉教育サポートセンター 代表 依田 透 氏 演題:「思春期における親子の接し方」参加者:170人 ・第2回家庭教育学級合同講座 11/19 講師:NPO法人青少年メディア研究協会 理事長 下田 太一 氏 演題:「新たな視点で考える子どものスマホ利用」参加者:181人 ○各小・中学校への家庭教育学級委託の実施 ・1校40,000円の委託金 実施講座数:29講座 参加者数:804人	○	○	B
14	相談活動の充実	悩み事を持つ保護者や子どもに対する相談活動の充実を図ります。	教育指導課	教育指導課	○子育てでの悩みや発達障害を起因とした家庭の悩みを支援するため、白岡市教育支援センターにおける相談体制を充実させた。 ○スクール・ソーシャルワーカーの積極的な活用と有効的な連携を推進した。(各種会議への積極的な参加等) ○庁内各課・地域医療機関等と連携を図ることができた。	○	○	B

基本目標2 男女がともに役割を担い、健康に暮らせるまちづくり

主要課題1 家庭における男女共同参画の推進

(1)男性の積極的な家庭参画促進

番号	施策名	事業内容	当初担当課	報告課	令和元年度実績報告(内容・効果、実施日、参加者数、意識・配慮、反省点等) ※未実施の場合は、その理由を記入してください。	意識・配慮度		達成度
						①	②	
15	男性の家事参加・日常生活支援の推進	女性が担うことが多い家事に男性の積極的な参加を促すため、家事等の基本的な知識、技術を習得する講座等を開催します。また、講座等に参加することにより、近所づきあいの経験が少なく孤立しがちな男性が仲間づくりや地域活動への参加のきっかけとなるよう働き掛けます。	生涯学習課 (公民館・勤労青少年ホーム)	学び支援課 (公民館)	○前期公民館講座 「男の料理」(夫婦の参加も可能)。 5/26(8人)、6/2(8人)、9(8人)、16(8人) 延べ32人参加(受講者8人、うち男性7人女性1人) 昨年から継続して参加している方も見られ、受講者からは好評のうちに終了した。 女性の参加者が多くを占める公民館講座の中でも、男性参加者を呼び込むことができる数少ない取組であるため、今後も継続していく方向で考えている。令和2年度の前期講座内でも開講する予定である。	○	○	B
16	男性の育児参加の促進	両親学級や休日の親子参加イベント等とおして、男性の育児参加をさらに促進します。	健康増進課	健康増進課	○母親学級の3日目を両親学級として開催 4回/年 父としての出産・育児に向けての心構え、母への理解・サポート方法等の講話や妊娠擬似体験、沐浴演習を実施 3回実施:参加者母37名、父28名	○	○	B
			子育て支援課 (児童館)	子育て支援課 (児童館)	○東児童館事業「パパとあそぼう」 ・父親と一緒にひとつの目的に取り組むことで、父子のふれ合いを深めた。 ・親子事業への男性の参加を増やすため、あえて保護者は男性対象とした。 ・講座開催にあたり、参加しやすい曜日や時間帯を配慮した。 ・男性保護者が参加しやすいよう、内容を工夫した。 (対象)4歳～小学校のお子さんと父親 (開催日)6/16(日)「クッキング」・・・10組23人 2/9(日)「工作」・・・12組28人 ○西児童館事業「工作教室」 ・父親と一緒に制作や外での風揚げを楽しみ、交流を深めた。 ・参加者の中には父子で来館する機会が増えた。 (対象)2歳以上の幼児と父親 (開催日)1/13(月・祝)・・・10組21人 ○子育て支援拠点事業「(父親対象)親子講座」「(父親対象)育児講座」 ・父子と一緒に遊びを楽しむ中で、子育てについての情報交換や親同士の交流を深めた。 ・親子講座や育児講座の男性参加を増やすため、あえて男性対象とした。 ・男性が参加しやすいよう開催曜日を配慮し、内容を工夫した。 「親子講座」 東児童館内子育て支援センター「はびちる」 (対象・開催日)1歳児の父子対象・・・6/2(日) 21組45人、1/26(日) 19組38人 2歳児の父子対象・・・6/9(日) 9組24人、1/26(日) 8組16人 「育児講座」 東児童館内子育て支援センター「はびちる」 (対象・開催日)1歳6箇月以上の幼児と父親・・・12/22(日) 8組16人 子育て支援センター「虹」 (対象・開催日)1歳6箇月以上の幼児と父親・・・8/24(土) 5組11人	○	○	B
			学び支援課 (図書館)	学び支援課 (図書館)	○お父さんと一緒に本を読もう!の実施 0～5歳くらいまでの子どもとそのお父さんを対象に、絵本の読み聞かせ、読み方や選び方、情報交換などを行った。 5/26(日) 2組4名、8/25(日) 5組12名、11/24(日) 4組12名、2/23(日) 2組4名参加	○	-	B
			生涯学習課 (公民館・勤労青少年ホーム)	学び支援課 (公民館)	○公民館講座(夏休み子ども講座) 小・中学校の夏休み期間中に夏休み子ども講座を開催し、保護者の見学及び参加を可能とした。 ・「インテリア模型～輸入住宅の小物入れ」8/4 児童15人、保護者7人(父親3人)が受講 8/11 児童10人、保護者6人が受講(父親0人) ・「マンガの人物キャラクターを描いてみよう!」8/18 児童11人が受講、保護者4人(見学のみ、父親0人) ・「子どものための囲碁教室」8/5(月)(2人)、6(火)(2人)、8(木)(2人)、9(金)(2人)、10(土)(1人) 延べ9名 児童2人が受講、保護者1人(見学のみ、父親0人)  「インテリア模型」、「マンガの人物キャラクターを描いてみよう!」の2講座は、日曜日に開催し、保護者が参加しやすいよう配慮したが、父親の参加が少なく、参加しやすいプログラムを作ることや周知、広報が課題となっている。	○	○	B

(2)子育て支援サービスの充実

番号	施策名	事業内容	当初担当課	報告課	令和元年度実績報告(内容・効果、実施日、参加者数、意識・配慮、反省点等) ※未実施の場合は、その理由を記入してください。	意識・配慮度		達成度
						①	②	
17	保育所、学童保育所等事業の充実	保育を必要とする世帯が仕事等と子育てを両立できるよう、保育定員の拡大、特別保育や学童保育所の充実、保育所の地域開放など、多様化する保育ニーズに応じた子育て支援サービスの提供を進めます。	子育て支援課	保育課	○多様化する保育需要に対応するため、市立保育所の定員を拡大した。 ○土曜日を共同保育とするとともに保育時間の拡大を図った。 ○大型ゴールデンウィーク時に、保育所、学童保育所を臨時開所し、保育需要に対応した。 【目標数値 学童保育所数 平成31年度 10か所】 待機児童の解消と保育環境の向上のため、篠津第三児童クラブを新設した。	○	○	B
18	子育てを考慮した公共施設等の整備	児童遊園等の整備や「赤ちゃんの駅」の設置など、安心して外出できる環境の整備を進めます。また、親子が安全に安心して利用できる公園環境の維持に向け、効果的な更新・補修を行います。	子育て支援課	子育て支援課	○「赤ちゃんの駅」について、ホームページや子育て支援ガイドブックを通じて、子育て家庭向けに周知を行った。	○	○	B
				保育課	・児童遊園25か所の遊具点検を実施した。 ・敷地内禁煙の張り紙を掲示した。 ・公園管理者や地域の方々の協力により、随時、草刈り、樹木伐採、落ち葉拾い等を実施いただき、安心安全な公園環境を維持することができた。	○	○	B
			街づくり課	街づくり課	○週1回以上の職員による点検及び年1回専門業者による点検を実施し、その結果を踏まえ遊具の修繕等を行うなど、利用者が安心して利用できるよう維持管理に努めた。	-	○	A

19	子育て相談、仲間づくりの支援と充実	日常的な子育ての悩みを気軽に相談できるよう各種相談を充実させ、利用促進を図ります。また、地域で子育てについての情報交換や親同士の交流を深め、親子がともに育つ場づくりを推進します。	健康増進課	健康増進課	<p>○乳幼児健康相談、栄養相談、離乳食教室の実施 各月1回(健康相談と計測のみは月2回)  22回実施:健康相談 相談者280名(延べ)  11回実施:栄養相談 相談者52名(延べ)  11回実施:離乳食教室 参加者123名(延べ)  22回実施:身体計測 計測者257名(延べ)</p> <p>○フォロー相談の実施 24回/年  臨床心理士による育児支援、精神的援助を行った。  22回実施:相談者84名(延べ)(R2.3.1現在)</p> <p>○乳幼児クリニックの実施 6回/年  乳幼児健診後のフォローや個別相談において、経過観察が必要なケースに対して小児科医師による診察、相談を行い、保護者の不安解消を図り、必要時医療機関などを紹介し適切な受診につなげた。  6回実施:相談者22名</p> <p>○保健センター事業を市のホームページや広報紙に掲載、毎年保健センター事業等予定表を全戸配布</p>	○	○	B
			子育て支援課(児童館)	子育て支援課(児童館)	<p>○「親子教室」(対象)0～2歳児、「ぶち・親子教室」(対象)6～12箇月</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・子育て支援センター及び子育てサロンを運営し、その中で、乳幼児とその保護者を対象とした親子講座を実施した。</li> <li>・母親だけではなく、父親も参加できるよう工夫した。</li> <li>・事業を知らない方もいるので、事業参加以外に遊びに来た利用者への積極的な声かけも含め、広く周知をしていく。</li> </ul> <p>東児童館内子育て支援センター「はびちる」  0歳児対象…前期 2コース 各8回 138組 276人 / 後期 2コース 各7回 247組 494人 ※3月中止  1歳児対象…前期 2コース 各8回 190組 383人 / 後期 2コース 各7回 179組 358人 ※3月中止  2歳児対象…前期 2コース 各8回 105組 215人 / 後期 2コース 各7回 62組 125人 ※3月中止  6～12箇月対象…月1回 11回 62組 124人</p> <p>西児童館内子育て支援サロン「らぶちる」  0歳児対象…前期 2コース 各8回 71組 142人 / 後期 2コース 各8回 71組 142人  1歳児対象…前期 2コース 各8回 168組 336人 / 後期 2コース 各8回 144組 282人  2歳児対象…前期 2コース 各8回 266組 532人 / 後期 2コース 各8回 168組 336人  6～12箇月対象…月1回 11回 79組 158人</p> <p>高岩保育所内子育てサロン「ぶりちる」  0歳児対象…前期 2コース 各8回 59組 118人 / 後期 2コース 各7回 110組 220人 ※3月中止  1歳児対象…前期 2コース 各8回 122組 244人 / 後期 2コース 各7回 104組 211人 ※3月中止  2歳児対象…前期 2コース 各8回 103組 206人 / 後期 2コース 各7回 102組 205人 ※3月中止  6～12箇月対象…月1回 11回 65組 130人</p> <p>子育て支援センター「虹」  0歳児対象…前期 2コース 各8回 25組 50人 / 後期 2コース 各8回 77組 154人  1歳児対象…前期 2コース 各8回 44組 89人 / 後期 2コース 各8回 34組 68人  2歳児対象…前期 2コース 各8回 50組 100人 / 後期 2コース 各8回 32組 65人  6～12箇月対象…4～7月1回、8月～月2回 18回開催 171組 344人</p> <p>○「相談事業」  ・育児についての不安解消を図ることを目的として実施した。  (相談件数 ※2月末まで) 東児童館内子育て支援センター「はびちる」…55件  西児童館内子育て支援サロン「らぶちる」…28件  高岩保育所内子育てサロン「ぶりちる」…21件  子育て支援センター「虹」…13件</p> <p>○「育児講座」 ※3月中止  ・育児講座を通して子どもの発達について学んだり、親子で楽しみながら子育てで家族の交流を深めた。  ・男性参加を増やすため、あえて男性対象の講座を設け、土・日・祝日の午前中に開催し、親子で一緒に取り組める内容にするなど配慮・工夫した。</p> <p>(開催数) 東児童館内子育て支援センター「はびちる」…11回 123組 250人  西児童館内子育て支援サロン「らぶちる」…11回 89組 182人  高岩保育所内子育てサロン「ぶりちる」…11回 81組 168人  子育て支援センター「虹」…11回 88組 182人</p>	○	○	B
20	訪問型子育て支援の実施	子育て支援拠点などに出て来られず家に閉じこもりがちな子育て家庭を訪問し、子育ての不安感、負担感、孤立感の軽減に努めます。	子育て支援課	子育て支援課(児童館)	○訪問型子育て支援 (件数)0件 依頼がなかった為実施せず。	-	-	C

21	地域交流事業の充実	身近な地域において子どもたちが様々な体験を通じて豊かな人間関係をはぐくめるよう、各種団体やサークル等地域の人々との交流事業を積極的に進めます。	生涯学習課	学び支援課	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ウィークエンドいきいき体験教室を実施 <ul style="list-style-type: none"> <li>・田んぼの学校 全4回 <ul style="list-style-type: none"> <li>5/12 田植え体験 54人</li> <li>6/9 田んぼの生き物観察会 30人</li> <li>9/7 稲刈り体験 45人</li> <li>11/9 しめ縄作り、お米の試食 42人</li> </ul> </li> <li>・自然観察会 全4回 <ul style="list-style-type: none"> <li>7/13 夜の昆虫観察会 45人(男性25人、女性20人)</li> <li>8/18 ミクロの世界探検隊 25人(男性12人、女性13人)</li> <li>11/30 森の恵みでクリスマスオーナメントをつくろう 6人(男性3人・女性3人)</li> <li>12/14 ひこべえの森 冬のつどい 61人</li> </ul> </li> <li>・自然ふれあい体験教室 <ul style="list-style-type: none"> <li>7/24、25 1泊2日</li> <li>宿泊地 菖蒲ヶ浜キャンプ場(栃木県日光市)</li> <li>対象者 小学生4年生から6年生まで 38人(男性20人・女性18人)</li> </ul> </li> </ul> </li> </ul>	○	○	B
			健康増進課	健康増進課	○白岡市母子愛育会が主催する幼児教室等への支援・協力 <ul style="list-style-type: none"> <li>幼児教室 2回実施(7、9、1月):参加者 親65名・子68名</li> <li>料理教室 2回実施(6、7月):参加者13名</li> <li>赤ちゃん広場 1回実施(8月):参加者156名</li> </ul>	○	○	B
22	ファミリー・サポート・センター事業の充実	育児の援助を受けたい方と子育てのお手伝いをしていただける方との、相互援助活動を支援するファミリー・サポート・センター事業の充実を図ります。	子育て支援課	子育て支援課(児童館)	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ファミリー・サポート・センター事業 ※2月末まで <ul style="list-style-type: none"> <li>・協力会員の活動として男性も行えるよう、援助内容の振り分けに配慮した。</li> <li>・長期にわたり平日毎日等の依頼に対しては、協力会員を複数人あてるよう配慮し、協力会員の負担軽減や依頼会員の要望をできる限り届けられるよう配慮した。</li> <li>入会説明会 毎月開催</li> <li>基礎研修会・・・延べ24人(2回)</li> <li>会員数・・・506人</li> <li>活動件数・・・1,379件</li> </ul> </li> <li>○緊急サポートセンター事業 ※1月末まで <ul style="list-style-type: none"> <li>サポーター養成講座(4日間)参加者・・・延べ4人</li> <li>活動件数・・・8件</li> </ul> </li> </ul>	○	○	A
23	ひとり親家庭への支援の実施	母子家庭、父子家庭などのひとり親家庭の生活安定と子どもの健全な育成を図るための支援を行います。	子育て支援課	子育て支援課	<ul style="list-style-type: none"> <li>○職業能力の開発を支援し、自立に向けた援助を図るため、母子家庭等自立支援給付金事業等をホームページにて周知した。</li> <li>○ひとり親家庭が健全で安定した生活を送ることができるよう、引き続き窓口等での相談を充実させ、適切な支援を行った。</li> <li>自立支援促進給付金受給者 1名(女性1名)</li> <li>高等職業訓練促進給付金受給者 1名(女性1名)</li> </ul>	○	○	A
24	子ども・子育て支援事業計画の推進	子ども・子育て支援事業計画に基づき、安心して子どもを産み育てられる環境づくりを進めるための施策を総合的、集中的かつ効果的に推進します。	子育て支援課	子育て支援課	○子ども・子育て支援事業計画に基づき、施策を実施した。	○	○	A

(3) だれもが安心して暮らせる環境づくり

番号	施策名	事業内容	当初担当課	報告課	令和元年度実績報告(内容・効果、実施日、参加者数、意識・配慮、反省点等) ※未実施の場合は、その理由を記入してください。	意識・配慮度		達成度
						①	②	
25	様々な困難な状況に置かれている人々への支援	高齢者や障がい者、経済的困窮を抱える家庭など、様々な困難な状況に置かれている人々が地域でいきいきと生活ができるよう、地域包括支援センターや地域の機関における情報提供・相談対応を行います。	高齢介護課	高齢介護課	○地域包括支援センターにおける相談状況(地域包括支援センター報告分)※R2.2月末現在 高齢者に関する幅広い相談の受け付け。介護、医療、福祉、保健など、様々な制度や地域の社会資源の紹介。また、高齢者の権利を守るため、関係機関との協力、権利侵害を防止するための情報提供。 ■総合相談(電話・来所・訪問・文書等):1606件(延べ人数) ■権利擁護(成年後見相談):34件 ■消費者被害相談:2件	-	○	B
			福祉課	福祉課	○窓口等で、市民の困りごと等を伺いながら、必要に応じて、福祉サービスの案内及び相談に対応した。 また、経済的に困窮している世帯に対し相談支援を行い、適切な社会資源の適用を行った。	-	○	B
26	高齢者・障がい者等の家族介護者への支援	家庭内で女性に負担が偏りがちな介護について家族介護者の負担を軽減するために、福祉サービスの充実や介護者同士の交流の場などの情報提供を行います。	高齢介護課	高齢介護課	○オレンジカフェ実施状況(地域包括支援センター報告分) ※R2.2月末現在 認知症カフェ(オレンジカフェ)とは、認知症の人やその家族、地域住民のみなさんが自由に参加して、交流できる場。また、認知症を正しく理解していただくための普及啓発や認知症について相談できる場。 ■実施事業所:8か所 ■回数:41回 ※延べ回数 ■参加者:863人 ※延べ人数	-	○	B
			福祉課	福祉課	○窓口等で、市民の困りごと等を伺いながら、必要に応じて、福祉サービスの案内及び相談に対応した。	-	○	B
27	性的少数者に対する理解促進	新規 性的指向や性同一性障害を理由とする偏見や差別をなくし、理解促進等性的少数者の人権侵害の防止に努めます。	全庁	学び支援課(図書館)	○LGBTに関する図書について、児童書を中心に資料の収集を図るとともに、秋の人権週間には、その他の人権に関する資料と合わせてテーマ展示を行った。	○	○	B
			地域振興課	地域振興課	○県主催のLGBT研修会に参加した。 ○県民講座「知っていますか?LGBT」の開催情報を広報し10月号に掲載し、講座の周知を図った。 ○申請書等に関する性別欄の見直し方針を定め、それに基づき、性的少数者の人々へ配慮した各種申請書等における性別欄の見直しに係る調査を実施した。今後、集計結果に基づき、各種申請書等の見直しを進めていく。	○	○	B

主要課題2 生涯にわたる健康づくり

(1) 女性の健康管理の充実

番号	施策名	事業内容	当初担当課	報告課	令和元年度実績報告(内容・効果、実施日、参加者数、意識・配慮、反省点等) ※未実施の場合は、その理由を記入してください。	意識・配慮度		達成度
						①	②	
28	妊娠・出産に関わる健康管理の充実	妊娠した女性や出産後の母子が健康を保持できるように、健康診査や健康相談、育児指導などライフステージや成長段階に応じて必要な母子保健事業等を充実します。また、保健所や埼玉県不妊相談センターの相談や不妊治療費助成事業などについての情報提供に努めます。	健康増進課	健康増進課	○母子健康手帳の交付 妊娠の届出時に健康の状況等を伺い出産後への継続支援を行った。 届出件数:379件 (R2.3.1現在) ○妊婦一般健康診査 母子健康手帳と併せて健診費用の助成券を交付 ○母親学級を開催 3日間1コースを年4回開催 4コース実施:参加者157名(延べ) ○各乳幼児健康診査の充実 4か月児健康診査の実施 月1回 11回実施:受診者357名 10か月児健康診査の実施 月1回 11回実施:受診者347名 1歳6か月児健康診査の実施 月1回 11回実施:受診者407名 3歳児健康診査の実施 月1回 11回実施:受診者404名 2歳6か月児歯科健診(個別歯科健診) 受診者231名(R2.3.1現在)	○	○	B
29	性の尊重についての理解促進	妊娠・出産についての知識やそれに関わる女性の自己決定権(リプロダクティブ・ヘルス/ライツ)などについて普及・啓発を行います。	地域振興課	地域振興課	○リプロダクティブ・ヘルス/ライツについて市公式ホームページに掲載し、正しい理解の普及に努めた。講座や研修会等の具体的な事業はまだ実施していないが、引き続き、具体的な啓発方法等について検討していく。	○	○	C
			健康増進課	健康増進課	○母親学級において、「妊娠・出産・育児」について保健師、助産師、歯科衛生士、栄養士の講話を実施 1日目「お産の経過、妊娠中の健康管理」講師:助産師 4回実施:参加者50名 2日目「妊娠中の口腔衛生、栄養管理」講師 歯科衛生士、管理栄養士 4回実施:参加者42名 3日目「新生児の保育」「沐浴演習」講師:保健師 3回実施:参加者65名	○	○	B



(2) 男女ともにライフサイクルに沿った健康づくり

番号	施策名	事業内容	担当課	報告課	令和元年度実績報告(内容・効果、実施日、参加者数、意識・配慮、反省点等) ※未実施の場合は、その理由を記入してください。	意識・配慮度		達成度
						①	②	
30	健康診査受診機会の拡充	市民の主体的な健康管理を推進するために、各種健診の受診についての周知・啓発や受診しやすい環境づくりを進め、受診率の向上を図ります。	健康増進課	健康増進課	<ul style="list-style-type: none"> <li>○胃がん、肺がん、乳がん、子宮頸がん、大腸がんの各健診を実施(6月～12月)</li> <li>・胃がん・肺がん、乳がん・子宮頸がん健診をそれぞれ同時実施</li> <li>・女性がん健診時に託児を実施</li> <li>・広報しらおかに毎月がん健診のお知らせを掲載(6～12月)</li> <li>・広報しらおかに9月号に乳がん特集を掲載</li> <li>・がん健診PRのため、公用車へPRマグネット装着、PR用ロゴシャツの着用</li> <li>・がん健診対象の市民にがん健診受診券ハガキを郵送(5月)</li> <li>・がん健診推進事業対象者のかたで未受診者に受診再勧奨ハガキを郵送(9月)</li> <li>・乳がん、子宮がん健診未受診者の特定のかたに受診再勧奨ハガキを郵送(11月)</li> <li>○がん健診実施状況</li> <li>・胃がん健診受診者846名</li> <li>・肺がん健診受診者1640名</li> <li>・乳がん健診受診者1158名</li> <li>・子宮頸がん健診受診者1411名</li> <li>・大腸がん健診受診者1773名</li> <li>○がん健診推進事業</li> <li>・乳がん健診67人</li> <li>・子宮頸がん健診21人</li> <li>・HPV健診59人</li> <li>・大腸がん健診64人</li> </ul>	○	○	B
31	相談事業の充実	利用しやすい健康・栄養相談の体制を整備し、関係機関と連携して健康の維持・増進を支援します。	健康増進課	健康増進課	<ul style="list-style-type: none"> <li>○健康・栄養相談の実施(月1回)</li> <li>11回実施・受相者 101名</li> <li>健康相談:40～64歳 26名、65歳以上 75名</li> <li>栄養相談:40～64歳 2名、65歳以上 8名</li> <li>○女性の健康教室参加者に周知</li> <li>○がん健診実施時、パンフレット置き場に日程案内を設置</li> </ul>	○	○	B
32	専門職の配置拡充	市民参加型の健康づくり事業など、市民の主体的な健康づくり活動を推進するために、保健師、栄養士等の専門職の拡充を図り、適切な配置に努めます。	健康増進課	健康増進課	<ul style="list-style-type: none"> <li>○保健師、栄養士等の適正配置</li> <li>・保健師2名採用</li> </ul>	○	○	B

33	健康に関する教育・啓発の充実	生涯にわたって健康に暮らせるよう心身の健康づくり、食育推進に関する学習や運動・スポーツの機会の提供及び啓発活動を行います。また、若年層を対象として、HIV/エイズ、性感染症や薬物乱用防止に関する正しい知識の普及・啓発を行います。	健康増進課	健康増進課	<ul style="list-style-type: none"> <li>○健康教室の実施 若い女性を対象とした生活習慣病予防教室を開催 9月に採血・計測、10月に結果返し・講話 延べ48人</li> <li>○健康マイレージ事業の実施 登録者数:617名(2月末現在) ウォーキングイベント(1回)・運動教室(3回)の実施 延べ112名</li> </ul>	○	○	B
			教育指導課	教育指導課	<ul style="list-style-type: none"> <li>○学校薬剤師や埼玉県警非行防止指導班「あおぞら」の他、各種外部指導者等を招聘し、各小中学校で薬物乱用防止教室を実施した。児童生徒への指導を行い意識向上に努めた。</li> <li>○第6学年の保健の学習の中でHIV/エイズ等性感染症に対する教育を行った。</li> </ul>	○	○	A
			生涯学習課	いきいき教育課	<ul style="list-style-type: none"> <li>○スポーツ教室の実施 ・「軽スポーツ教室」8回(6/15,29,7/6,13,9/7,28,10/5,19)延べ127人 ・「アダブテッドスポーツ教室」5回(5/25,7/20/9/21,11/16,2/8)延べ76人</li> </ul>	○	○	B
			生涯学習課 (公民館・ 勤労青少年ホーム)	学び支援課 (公民館)	<ul style="list-style-type: none"> <li>○公民館講座(前期) ・「ヨガ&amp;ピラティス」6/8(36人)、22(27人)、7/13(25人)、27(20人) 延べ108人 全4回 土曜日(受講者40人、うち男性1人、女性39人) ・「中高年卓球教室」6/15(10人)、22(9人)、29(9人) 延べ28人 全3回 土曜日(受講者10人、うち男性4人、女性6人) ・「肩こり、腰痛などの不調をツボで解決!」6/24(16人)、7/1(16人)、8(17人) 延べ49人 全3回 月曜日(受講者20人、うち男性5人、女性15人) ・市民企画講座「らくらく寝たまま!腹式呼吸とゆるゆるストレッチ体操」 6/1(19人)、15(17人)、22(20人)、29(14人) 延べ70人 全4回 土曜日(受講者25人、うち男性1人、女性24人) ・「アジア風料理」5/25(5人)、6/1(2人)、8(5人)、15(5人)、22(5人) 延べ22人 全5回 土曜日(受講者5人、全員女性) ・「男の料理」5/26(8人)、6/2(8人)、9(8人)、16(8人) 延べ32人 全4回 日曜日(受講者8人、うち男性7人、女性1人) ・「楽しいパン作り」6/11 8人(全員女性) 1回 火曜日</li> <li>○公民館講座(後期) ・「イスカキラ(ろっ骨エクササイズ)」10/1(40人)、8(41人)、15(37人)、29(34人) 延べ152人 全4回 火曜日(受講者47人、全員女性) ・「らくらく寝たまま!腹式呼吸とゆるゆるストレッチ体操」10/19(24人)、26(15人)、11/16(17人)、30(10人) 延べ66人全4回 土曜日(受講者26人 男性1人、女性25人) ・「中高年卓球教室」11/10(土)(8人)、17(日)(9人)、23(土)(9人) 延べ26人 全3回(受講者10人、男性2人、女性8人) ・「中高年卓球教室」(追加)2/23(日)(10人)、3/1(日)(10人) 延べ20人 日曜日 全2回(受講者10人、男性4人、女性6人) ・市民企画講座「気功・太極拳」11/11(13人)、18(11人)、25(11人)、12/2(10人) 延べ45人 全4回 月曜日(受講者13人、男性3人、女性10人) ・「あったかい料理」11/16(6人)、30(6人)延べ12人 全2回 土曜日(受講者7人 男性2人、女性5人) ・「楽しいパン作り」12/7(6人)、1/18(8人)、2/8(7人)延べ21人 全3回 土曜日 (受講者8人 男性1人(幼児1人)、女性7人(うち小学生2人)) ・前、後期ともに開催した「中高年卓球教室」は、各回ともに受講希望者が定員(10人)を超えたため、抽選で受講者を決定するなど、本年度実施事業では最も成功した取り組みとなった。その他の運動、料理の講座も好評であり、今後も継続して開催する。</li> </ul>	○	○	B

基本目標3 一人ひとりが活躍するための環境づくり

主要課題1 男女がともに働きやすい環境づくり

(1) 働き方を見直した、多様な働き方ができる環境づくり

番号	施策名	事業内容	当初担当課	報告課	令和元年度実績報告(内容・効果、実施日、参加者数、意識・配慮、反省点等) ※未実施の場合は、その理由を記入してください。	意識・配慮度		達成度
						①	②	
34	ワーク・ライフ・バランスを実現する働き方の情報収集・提供	ワーク・ライフ・バランスを実現する働き方や両立支援の取組について、市民や事業者等への情報提供を行います。	商工観光課	商工観光課	○国や県から提供されるパンフレットを配布し、情報提供を行った。	-	○	B
			地域振興課	地域振興課	○男女共同参画パネル展において、情報提供を行った。 6/18～6/24市民ラウンジにおいて「日本の女性はどうか生きてきた？」を展示した。	○	○	B
35	就労に関する情報の収集・提供	良好な就労環境で働くことができるよう、ハローワーク等の求人情報、パート、派遣労働、SOHOなどに関する情報の収集、提供を行います。また、テレワーク、在宅ワークなどの労働実態の把握を進めます。	商工観光課	商工観光課	○春日部、大宮のハローワークと連携し、求人情報を定期的に入手し、窓口にて閲覧を実施した。 ○求職者に対し、ハローワーク求人情報オンラインサービスを活用し、毎日更新される最新の求人情報を提供した。	-	○	B
36	労働に関する相談体制の充実	相談者がかかえる様々な問題を迅速かつ適正に対処するための情報収集・提供体制を、関係機関との連携強化を図りながら充実します。	商工観光課	商工観光課	○労働に関する相談窓口の問い合わせなどに対して迅速に対応するため、担当機関の情報収集に努め、情報提供及び相談窓口の紹介に努めた。	-	-	B
37	農業に携わる女性への支援	男女共同参画への理解を推進するため、農産物加工・販売等に取り組む女性農業者への研修や講習等を関係機関を通じて開催し、農業における女性の経営参画を促進します。	農政課	農政課	○彩の会、転作大豆加工部会とともに、11月16日の農業祭に参加し、農作物や加工品の販売を実施した。 ○転作大豆加工部会では味噌を製造(7人参加)。味噌センターで販売してもらう。	○	-	B
38	商工業等に携わる女性への支援	商工業に携わる女性が、地域経済の活性化を担えるように経営戦略を学べる研修会、講習会等を、関係機関を通じて開催し、商工業における女性の経営参画を促進します。	商工観光課	商工観光課	○商工会女性部に対し、商工業の振興に役立つ各種研修会等の情報を提供するなど、必要に応じたサポートを行った。	-	-	B
39	就労に関する法・制度の周知、啓発	勤労者及び事業主に対して、『男女雇用機会均等法』、『育児・介護休業法』、『女性活躍推進法』、『ポジティブ・アクション等、女性の雇用や職業と家庭の両立に関する法・制度の周知や活用促進を、国や県など関係機関と協力して進めます。	商工観光課	商工観光課	○国や県から提供されるパンフレットを配布し、情報提供を行った。	-	-	B

(2) 女性のチャレンジ支援

番号	施策名	事業内容	当初担当課	報告課	令和元年度実績報告(内容・効果、実施日、参加者数、意識・配慮、反省点等) ※未実施の場合は、その理由を記入してください。	意識・配慮度		達成度
						①	②	
40	職業能力の開発と支援	技術や職業能力の開発、情報や学習機会の提供などを通じ、就職や再就職等を希望する女性に対して、職業能力開発のための支援を行います。	商工観光課	商工観光課	○県等と連携を図り、職業能力開発センターや高等技術専門学校の入校案内などのパンフレットを配布するとともに、広報誌による技能取得講座の案内を実施した。	-	-	B
41	起業・再就職に関する支援	起業や再就職を希望する女性に対して、各種情報提供を行うとともに、関係機関と連携したセミナーの開催、相談等の支援を行います。	商工観光課	商工観光課	○ハローワーク求人情報提供サービスを活用し、毎日更新される求人情報を求職者に提供する。 ○商工会と連携し、創業希望者向けのセミナーを開催する。 ○女性の就労支援策として、以下のセミナーを開催した。 ・『コミュニケーション能力向上セミナー』9月19日開催 2名 ・『「ビジネスマナー」実践講座』2月7日開催 10名	○	-	A

主要課題2 政策・方針決定の場への参画促進

(1) 審議会等における男女共同参画の促進

番号	施策名	事業内容	当初担当課	報告課	令和元年度実績報告(内容・効果、実施日、参加者数、意識・配慮、反省点等) ※未実施の場合は、その理由を記入してください。	意識・配慮度		達成度
						①	②	
42	審議会等への女性の参画の促進	政策・方針決定の場への女性の参画を進めるため、審議会等への女性委員の登用を促進します。平成33年度までに登用率を30%とするように努め、女性委員のいない審議会等の解消に努めます。	全庁	環境課	○審議会及び協議会への女性委員の登用に対して、意識付ける。 ・環境審議会において、委員10名のうち2名の女性委員に参加していただいている。今後も、男女問わずに参加しやすい雰囲気を作り、委員選出団体(委員は推薦されている)各々の視点から積極的な意見交換が行われる会議運営を目指す。 ・空家等対策協議会において、委員11名のうち2名の女性委員に参加していただいている。今後も、男女問わずに参加しやすい雰囲気を作り、委員選出団体(委員は推薦されている)各々の視点から積極的な意見交換が行われる会議運営を目指す。 ・彦兵衛下小笠原遺跡ふるさとの森検討協議会において、委員10名のうち女性委員は0名となっている。今後、男女問わずに参加しやすい雰囲気を作り、積極的な意見交換が行われる会議運営を目指す。	○	○	B
				下水道課	○委嘱期間内のため未実施。令和2年度4月予定 ・白岡市下水道事業審議会への女性委員の参画状況(令和元年9月30日現在 14.3% 2人/14人)	-	-	
			地域振興課	地域振興課	○審議会等への女性委員の参画状況等の調査を通じ、新規組織の立ち上げや、委嘱替えの際に女性委員を積極的に登用するよう、職員に対し意識づけをした。 平成31年4月1日現在 ・審議会等全体への女性委員の登用・参画率 27.7%(前年度27.5%、前々年度23.8%) ・行政区長、区長代理に占める女性の割合 6.0%(前年度5.4%、前々年度3.3%)(目標は10%)	○	○	B
43	女性の人材発掘と活用	審議会等の委員候補者や男女共同参画に関連した講座の講師候補者として女性の参画を促すため、様々な分野で知見や経験を有する人材リストの充実と活用を促進します。	地域振興課	地域振興課	○研修、講座開催における講師、審議会等への女性委員の登用に際し、人材リストの活用はできなかった。今後、あらゆる分野で女性の参画が図れるよう、ベアーズバンクとも連携を含めた活用を検討していく。	○	○	C
44	市政に係る情報提供の充実	市政に対する市民の関心を高め市民参加を促進するため、市の施策や議会に関する積極的な情報提供に努めます。また、参画と協働のまちづくりサポーター制度の充実を図ります。	地域振興課	地域振興課	○市政等の情報提供を充実させるため、参画と協働のまちづくりサポーター制度による情報提供を行った。 ・令和元年度14回	○	○	B
			議会事務局	議会事務局	○議会だよりを年4回発行し、議会における審議内容や議会活動を積極的に公開した。読みやすく、分かりやすい編集に努めた。 ○定例会に関する情報や会議録、議員名簿、議会だよりなどを掲載し、いつでも誰でも議会情報が得られるよう情報公開した。 ○既存の情報発信の方法に加えて、ツイッターを活用した情報発信を行うことで、様々な人に情報が届くよう努めた。	○	○	B
45	女性の会議等への参画の支援	会議・相談等への女性の参画を推進するため、一時保育サービス等を実施するなど参加しやすい体制づくりを進めます。	全庁	学び支援課(公民館)	○公民館講座 ・「楽しいバン作り」(前期) 6/11 8人(全員女性) 1回 火曜日 託児付き講座として実施した。託児は白岡市母子愛育会に依頼し、参加者のうち2人が利用した。 ・「楽しいバン作り」(後期) 12/7(6人)、1/18(8人)、2/8(7人) 延べ21人 全3回 土曜日(受講者8人 男性(幼児1名)、女性7人(うち小学生2人)) 後期に開催した講座では、託児は実施しなかったが、4歳から小学生までの子どもの参加を認め、親子でも楽しめる内容として実施した。	○	○	B
				地域振興課	地域振興課	○女性相談室・男女共生セミナーの際に一時保育を実施した。 利用件数 女性の相談室0件、男女共生セミナー4件(5名)	○	○

(2) 事業所における取組の推進

番号	施策名	事業内容	当初担当課	報告課	令和元年度実績報告(内容・効果、実施日、参加者数、意識・配慮、反省点等) ※未実施の場合は、その理由を記入してください。	意識・配慮度		達成度
						①	②	
46	方針決定の場への女性の参画推進に向けた情報提供	事業所等における方針決定過程への女性の参画の推進に向け、事業者に対して国・県等の支援に関する情報や取組事例などについて情報提供を行います。	商工観光課	商工観光課	○国や県から提供されるパンフレットを配布し、情報提供を行った。	-	-	B

主要課題3 地域・社会活動への参加促進と環境づくり

(1) 地域・社会活動における男女共同参画の推進

番号	施策名	事業内容	当初担当課	報告課	令和元年度実績報告(内容・効果、実施日、参加者数、意識・配慮、反省点等) ※未実施の場合は、その理由を記入してください。	意識・配慮度		達成度
						①	②	
47	自治会等地域活動の男女共同参画の促進	行政区、自治会、PTAなどの身近な地域活動に男女がともに参加し、性別による固定的な役割分担をなくし、主要な役割を女性も男性も担いながら活発な活動ができるよう意識啓発に努めます。	地域振興課	地域振興課	○10月29日～30日に実施した行政区長会の県外視察研修で、気軽に集まれる喫茶サロンを展開している茨城県ひたちなか市のNPO法人の事業を視察し、性別、年齢などを越えた地域の居場所作りについて学んだ。	○	○	B
48	地域活動、ボランティア活動への参画の促進	様々な地域活動やボランティア活動に、子どもや高齢者、女性、男性などだれもが気軽に参加できるよう取り組んでいきます。	地域振興課	地域振興課	○参画と協働のまちづくりサポーター制度による登録者へのボランティア情報等の提供や参画と協働の市民活動掲示板での情報掲示を通じて、地域活動・ボランティア活動の促進を図っている。 ○10月26日から地域活動キックオフ講座の開催し、シニア層などの地域活動への参加を促進した。(コミュニティセンター指定管理者の業務委託事業)	○	○	B
			環境課	環境課	○ごみゼロ・クリーン運動を実施した。市内全域を対象として市民9,225名の参加により8,380kgのごみを回収した。	○	○	B
			生涯学習課	学び支援課	○ペアーズバンクの充実 ボランティア精神をふまえた有志指導者(ペアーズリーダー)に関する情報及び市内で生涯学習活動をしている団体(ペアーズサークル)に関する情報を市公式ホームページに掲載し、広く多くの市民に情報提供し、市民の相互学習の機会を高め、生涯学習の推進を図った。 ペアーズリーダー 58人、ペアーズサークル 33団体	○	○	B
			生涯学習課 (公民館・勤労青少年ホーム)	学び支援課 (公民館)	○公民館市民企画講座 市民と行政が協力して豊かな地域社会を築くとともに地域文化の振興と住民の福祉、健康の増進を図り、より質の高い学習の場を市民に提供するため、市民自らが企画・運営する「市民企画講座」を開催しており、今年度も前期・後期の各公民館講座において実施した。  公民館前期講座 ・「らくらく寝たまま！腹式呼吸とゆらゆらストレッチ体操」 6/1(19人)、15(17人)、22(20人)、29(14人) 延べ70人 全4回 土曜日(受講者25人、うち男性1人、女性24人) 参加者から好評をいただき、受講者の一部によりサークル化され現在も活動している。  公民館後期講座 ・「本版画で年賀状作り」 11/9(6人)、16(5人)、23(6人)、30(4人)、12/7(6人) 延べ27人 全5回 土曜日(受講者6人、男性1人、女性5人) ・「はじめてのチアダンス教室～チアダンスでも自分も応援しよう！～」 11/10(8人)、17(5人)、12/8(8人)、15(8人) 延べ29人 全4回 日曜日(受講者8人(小学生)、男性1人、女性7人) ・「気功・太極拳～身体の心・呼吸・動きを整える」 11/11(13人)、18(11人)、25(11人)、12/2(10人) 延べ45人 全4回 月曜日(受講者13人、男性3人、女性10人) 子ども向け(チアダンス教室)のプログラムなど、これまでになかった取り組みも実現することができた。 講座を企画する団体や、事業参加者に若年層を取り込む必要がある。	○	○	B
生涯学習課(図書館)	学び支援課(図書館)	○第2回こもれびの森まつり 11/16(土)「学び支援課」「シルバー人材センター」「社会福祉協議会」「図書館ボランティア」の共催による開催。図書館ボランティアによる「おはなし会」「古本市」「布作品販売」等を実施した。参加者延べ2,800人 古本市の販売ボランティアの公募や、地域で活動するサークルに事業の写真撮影について協力依頼を行い、市民の事業への参画を促した。 ○ブックスタートボランティア養成講座 1/23(木)、2/13(木) ブックスタート事業の実施を協働で行うボランティアを養成する講座を実施した。参加者延べ16人	○	○	B			

49	ベアーズ!しらかをを活用した多様なプログラムの実施	ベアーズ・アカデミー等を通じて、市民の意向や時代のニーズに応じた多様な学習機会を提供します。また、開催時の一時保育や公共施設等の活用など様々な支援体制を検討します。	生涯学習課	学び支援課	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ベアーズアカデミー</li> <li>・「ジャンル」法律 2回講座 延べ38人(男性23人・女性15人) 講座名:市民法律講座「これだけは知っておきたい法律知識」 7/18(木)「消費者講座」 7/25(木)「相続・遺言・成年後見講座」</li> <li>・「ジャンル」情報 2回講座 延べ39人(男性22人・女性17人) 講座名:あなたの個人情報大丈夫? 9/20(金)「スマホ・ケータイ安全講座」 9/26(木)「情報セキュリティ講座」</li> <li>・「ジャンル」芸術 2回講座 延べ27人(男性16人・女性11人) 講座名:デジタルカメラ「季節を撮る!」 10/20(日)「屋外での撮影にチャレンジ!」 10/27(日)「プリントしよう!」</li> <li>・「ジャンル」生物・環境 6回講座 講座名:外来生物の脅威1 延べ28人(男性17人・女性11人) 7/19(金)「クビアカツヤカミキリの生態について」 7/26(金)「クビアカツヤカミキリの食害痕について」フィールドワーク 講座名:外来生物の脅威2 延べ24人(男性13人・女性11人) 11/14(木)「アライグマの生態について」 11/21(木)「アライグマの痕跡について」フィールドワーク 講座名:殺虫剤 13人(男性7人・女性6人) 11/28(木)「殺虫剤(ネオニコ)について」 講座名:冬の野鳥観察 10人(男性5人・女性5人) 1/24(金)「冬鳥を観察しよう!」</li> <li>・「ジャンル」歴史 2回講座 延べ37人(男性22人・女性15人) 講座名:埼玉古墳群を知る 1/29(木)「埼玉古墳群について」 1/31(金)「古墳群をみてみよう!」フィールドワーク</li> <li>・「ジャンル」しらか学 4回講座 延べ81人(男性47人・女性34人) 講座名:絵馬に託した祈りと願い〜白岡の大絵馬・小絵馬〜 2/6(木)「小絵馬に願いを」 2/13(木)「大絵馬と掲額」 2/20(木)「指定文化財の絵馬」 2/27(木)「絵馬に見る伊勢参りと旅」</li> </ul>	○	○	B
			学び支援課(図書館)	<ul style="list-style-type: none"> <li>○図書館主催講座の開催</li> <li>図書館の利用促進に向けて、各種講座を実施した。</li> <li>・4/27 図書館講座「とぼそう!おおきなシャボン玉」 34人</li> <li>・5/5 図書館講座「コーティング教室」 9人</li> <li>・6/26、7/3、10歴史講座 延べ64人</li> <li>・7/31、8/1 夏休み子ども講座「本の帯・POPづくり講座」参加者 延べ57人(男性22人・女性35人)</li> <li>・10/27 児童文学講座「プリンちゃん」とあそぼう!・作家トーク会・絵本原画展 延べ976人</li> <li>・11/4 図書館講座「作ってみよう!世界チャンピオンの紙ひこうき!」 39人</li> <li>・2/12、19、26 文学講座 芭蕉「おくのほそ道」を読む 延べ49人</li> </ul>	○	○	B	
50	女性リーダー、団体の育成	地域で活動する女性のリーダーとしての資質の向上を促し、地域活動の中核を担えるように、また地域で活動している様々な団体が、男女共同参画の視点を持った活動団体となるように働きかけていきます。	地域振興課	地域振興課	○男女共同参画推進委員、ハーブティ編集委員に県等主催の研修会、講座開催について情報提供した。	○	-	C
			生涯学習課	学び支援課	<ul style="list-style-type: none"> <li>○女性が中心に活躍する図書館ボランティアグループに「おはなし会」「布の絵本の作成」「こもれびの森まつり」において活躍できる場を提供した。</li> <li>・おはなし会(毎月第1~3金曜日、第2~4土曜日開催) 3団体、個人2人</li> <li>・布の絵本、布バック作成 1団体</li> <li>・こもれびの森まつりでのおはなし会・古本市・布作品販売を実施した(番号48と再掲)。</li> </ul>	○	○	B
51	国際社会への理解と交流の促進	男女共同参画に関する国際的な動向を知るとともに、多様な価値観を尊重し国際社会への理解を深めるため、学習資料の収集や外国人との交流の機会を確保します。また、国際交流活動団体の支援や市内の外国人への情報提供など様々な支援を行います。	地域振興課	地域振興課	<ul style="list-style-type: none"> <li>○市民と市内在住外国人の交流を図るため、国際交流オープンサロンを開催し機会を確保した。</li> <li>・令和元年度5回実施 6月:フリートーク、8月:白岡まつり(白岡おどり)、10月:トルコ共和国紹介、12月:国際交流のつどい、1月:かるたであそぼう!</li> <li>○日本語教室を開催し、市内在住の外国人にとって日常生活に必要な日本語学習を支援した。</li> </ul>	○	○	B

(2) 防災等における男女共同参画の推進

番号	施策名	事業内容	当初担当課	報告課	令和元年度実績報告(内容・効果、実施日、参加者数、意識・配慮、反省点等) ※未実施の場合は、その理由を記入してください。	意識・配慮度		達成度
						①	②	
52	防災・災害復興時における男女共同参画の推進	防災や災害時の活動に女性が重要な役割を果たすことができるよう、地域防災計画の策定過程への女性の参画拡大及び防災訓練や防災リーダー養成講習会への女性の参画を促します。また、女性のニーズに対応する防災用品の備蓄を行います。	安心安全課	安心安全課	○備蓄用粉ミルク及び液体ミルクを購入した。今後、健康増進課を通じて定期健診に来場する保護者へ配布する予定である。また、防災講習会等への女性の参画を促し、引き続き女性のニーズの情報収集を行い、防災用品の購入に反映できるよう努める。 ○第11回白岡市防災リーダー養成講習会を実施し、受講者36名のうち、6名が女性であった。	○	○	B
53	環境の分野における男女共同参画の推進	持続可能な社会の実現に向けて、環境保全等に関する女性の高い関心や豊かな知識・実践的な経験等をより広くいかす観点から、環境審議会等環境分野における政策・方針決定過程への女性の参画促進を図るとともに、市民参加による環境保全の取組を進めます。	環境課	環境課	○グリーンカーテンの作成を通じて、地球温暖化防止に対する意識の向上を図った。令和元年度は5月28日に41世帯に対してゴーヤの苗木を配布した。 ○環境学習会を開催し、大人も子どもも楽しみながら環境について学べる機会を提供した。令和元年度は8月7日に「杉並清掃工場」と「科学技術館」にて身近な環境問題を切り口に環境学習を開催した。	○	○	B

基本目標4 男女の人権を守る体制づくり

主要課題1あらゆる暴力の根絶

(1) 配偶者等からの暴力に対する施策の推進

番号	施策名	事業内容	当初担当課	報告課	令和元年度実績報告(内容・効果、実施日、参加者数、意識・配慮、反省点等) ※未実施の場合は、その理由を記入してください。	意識・配慮度		達成度
						①	②	
54	DV・デートDV防止のための広報・啓発活動の充実	DVの防止に向けて、講座の開催や情報提供を行い、DVに関する広報・啓発活動を充実します。また、若い世代に向けてデートDVについての意識啓発を行います。	地域振興課	地域振興課	○広報紙、男女共同参画パネル展等においてDVの防止、デートDVについての意識啓発を行った。 ・広報しらおか11月号にDVについての記事を掲載した。 ・男女共同参画パネル「知っていますか？ デートDV」を市民ラウンジに展示した。展示期間11/14～11/25 ・成人式出席者へ県作成の「デートDV」チェックカードを配布した。 ・県パープルボン・キャンペーンに参加した。(1/21～1/28) ・男女共生セミナーにおいて、パープルボンキャンペーンについての周知を実施した。	○	○	B
			教育指導課	教育指導課	○人権研修会でDVの内容に触れ、教職員の危機意識を高めるよう努めた。(校内人権研修会の実施) ○教職員・児童生徒対象の人権やDVに関する啓発文書の発出や講演会開催の告知を行った。 ○各校において、全教育活動の中で人権・道徳教育を推進した。	○	○	B
55	DVに関する相談窓口の充実	安心して相談できる環境づくりを進めるために、相談体制の充実を図ります。また、被害者や周囲の人に早めの相談を促し深刻な被害を未然に防止するために、相談窓口の周知を図ります。	地域振興課	地域振興課	○人権相談、女性の相談室を開設した。相談件数：人権相談5件(うち女性2件) 女性の相談室23件(うちDV10件) ○広報しらおか11月号にDVに関する記事、相談窓口を掲載した。	○	○	A
			関係各課	市民課	○DV及びストーーカー行為等の被害者から申出を受け、住民票等の交付制限など戸籍・住民基本台帳事務における支援措置を行った。 (令和元年度に支援措置を行った件数・・・戸籍事務における支援措置9件、住民基本台帳事務における支援措置17件)	-	-	A
56	DV被害者の緊急一時保護と自立の支援	緊急に保護を求めてきた被害者が婦人相談センターや民間シェルターに一時保護されるまでの間、避難場所の提供や同行支援などにより、被害者および被害者が連れている子どもの安全を確保します。また、DV被害者が自立した生活を始めることができるよう支援を行います。	地域振興課	地域振興課	○婦人相談センター等の関係機関と連携するため、研修会、情報交換会等に参加した。 ○親子の心の回復と自立を支援する心理教育プログラム「びーらぶ」の実施について、広報紙で情報提供した。 ○緊急一時保護件数 2件	○	○	A
57	関係機関との連携	DV被害者に対する支援を全庁的に行うため、庁内DV対策連携会議で情報共有と連携を図ります。警察、県、民間団体等庁外の関係機関との連携についても検討します。	地域振興課	地域振興課	○DV関連の情報について、関係各課との連絡調整を密に行い、情報を共有し、支援の充実に努めた。 ○住民基本台帳事務における支援措置申出者の庁内周知を関係各課へ実施した。	○	○	B
			関係各課	市民課	○庁内DV対策連携会議には参加していないが、随時、人権担当及び関係各課と連携を図り、支援体制の強化を図った。	-	-	A

(2)子どもや高齢者に対する暴力を根絶するための取組

番号	施策名	事業内容	当初担当課	報告課	令和元年度実績報告(内容・効果、実施日、参加者数、意識・配慮、反省点等) ※未実施の場合は、その理由を記入してください。	意識・配慮度		達成度
						①	②	
58	子どもの人権についての啓発の充実	児童虐待は子どもに対する著しい人権侵害であることから、子どもの人権や児童虐待防止について広報・啓発活動を行います。	教育指導課	教育指導課	○文科省や県からの通知(法改正やリーフレットの配布等)を速やかに発出し、各校に対し確実な情報提供を行った。 ○職員会議・研修会等で児童虐待について協議し、教職員の危機意識の向上に努めることができた。 ○県主催の児童虐待防止サポーター研修会では、今年度市内から2名が参加した(令和元年12月4日開催のもの) ○庁内各課・児童相談所との情報共有・連携を図ることができた。	○	○	A
			子育て支援課	子育て支援課	○主任児童委員の協力を受け、11月の児童虐待防止月間に白岡駅で啓発品を配布しながらのキャンペーンを実施し、広報等でも周知を行い市民の意識啓発を図る。 男性6名、女性11名参加	○	○	A
59	要保護児童対策地域協議会の充実	虐待の早期発見・早期対応のため、地域の関係機関と連携し、支援体制の強化を図ります。	子育て支援課	子育て支援課	○代表者会議、実務者会議、個別ケース検討会議を開催し、要保護児童の支援の進行管理等をし、虐待の早期発見・対応を図るとともに関係機関と更に連携を強化していく。必要に応じて、庁内関係課欠席者に対して資料を配布し、情報を共有している。 代表者会議 男性14名、女性10名(当日男性2名欠、女性2名欠) 実務者会議第1回目 男性7名、女性25名(当日男性1名欠、女性2名欠) 実務者会議第2回目 男性5名、女性11名(全員出席) 実務者会議第3回目 男性3名、女性13名(女性1名欠席) 実務者会議第4回目 男性7名、女性14名(全員出席)	○	○	A
60	高齢者への虐待防止対策の推進	地域包括支援センターを中心に地域との連携を図り、高齢者虐待防止の啓発に取り組んでいます。	高齢介護課	高齢介護課	○虐待案件状況(地域包括支援センター報告分) 高齢者の権利を守るため、関係機関との連携、協力、権利侵害を防止するための情報提供。 ■相談(新規・継続・延長):0件 ■訪問(新規・継続・延長):0件	-	-	C

主要課題2 あらゆる形の嫌がらせ行為の防止

セクシュアル・ハラスメントやストーカー行為等の防止の取組

番号	施策名	事業内容	当初担当課	報告課	令和元年度実績報告(内容・効果、実施日、参加者数、意識・配慮、反省点等) ※未実施の場合は、その理由を記入してください。	意識・配慮度		達成度
						①	②	
61	セクシュアル・ハラスメント防止の啓発	職場、学校、地域等あらゆる場におけるセクシュアル・ハラスメントを根絶する意識づくりに向け、研修会等で意識啓発を行います。	地域振興課	地域振興課	○各種委員の会議等の際、機会を設けてセクシュアル・ハラスメントを始めとしたハラスメント防止についての意識啓発を図った。 ・職員や各種委員を対象に実施した人権・同和問題研修会の実施 4/1新採用職員 12名、7/18人権・同和問題職員研修 132名、8/16民生・児童委員 132名、1/24行政区長39名、2/25農業委員 19名 ・女性の相談室相談件数37件(うちセクシュアル・ハラスメント相談1件)	○	○	B
			商工観光課	商工観光課	○商工会が開催する事業者向けの会議等において、国や県から提供されるパンフレットを配布し、情報提供を行った。	-	-	B
62	ストーカー行為等の防止の啓発	ストーカー行為、モラル・ハラスメント、パワー・ハラスメント、マタニティ・ハラスメント等あらゆる形の嫌がらせ行為防止のための情報提供、相談体制の充実を進めます。	地域振興課	地域振興課	○ストーカー行為やモラル・ハラスメント、パワー・ハラスメント等あらゆる形の嫌がらせ行為防止のための情報提供、相談体制の充実を努めた。 ・職員や各種委員を対象に実施した人権・同和問題研修会の実施(番号61と再掲) 4/1新採用職員 12名、7/18人権・同和問題職員研修 132名、8/16民生・児童委員 132名、1/24行政区長39名、2/25農業委員 19名 ・女性の相談室相談件数37件(うちストーカー相談0件)	○	○	B

基本目標5 計画推進の体制づくり

主要課題1 市民との協働による推進体制の整備

番号	施策名	事業内容	当初担当課	報告課	令和元年度実績報告(内容・効果、実施日、参加者数、意識・配慮、反省点等) ※未実施の場合は、その理由を記入してください。	意識・配慮度		達成度
						①	②	
63	しらかおか男女共同参画推進会議の運営	知識経験者、団体推薦、公募の市民等によって構成される推進会議で計画の進捗状況を点検し、施策に対する提言を行います。	地域振興課	地域振興課	○第1回しらかおか男女共同参画推進会議を開催した。(7/22開催 女性政策庁内推進会議と合同開催) 内容・第4次白岡市男女共同参画プランの施策推進のための取組にかかる平成30年度実績報告について ・男女共同参画講座(With You さいたま 出前セミナー) ○第2回しらかおか男女共同参画推進会議を開催した。(11/15開催 女性政策庁内推進会議と合同開催) 内容・第4次白岡市男女共同参画プランの施策推進のための取組にかかる令和元年度事業報告(中間報告)について	○	-	A
64	地域の市民活動団体等への支援	男女共同参画などを推進する市民、事業所、団体、グループ、NPO等との連携や支援を行い、市民と市が協働して男女共同参画の推進を図ります。	地域振興課	地域振興課	○先導的な協働のまちづくりのモデルとなる協働事業に対して補助を行い、協働を担う市民団体の育成及び協働の土壌醸成を図った。 ・行政指定テーマ事業:3事業採択 ・市民提案型事業:3事業採択	○	○	B



主要課題2 庁内推進体制の充実

番号	施策名	事業内容	当初担当課	報告課	令和元年度実績報告(内容・効果、実施日、参加者数、意識・配慮、反省点等) ※未実施の場合は、その理由を記入してください。	意識・配慮度		達成度
						①	②	
65	女性政策庁内推進会議の活動の充実	プランの推進状況の把握や研修会等を実施し、全庁的に男女共同参画の推進を図ります。	地域振興課	地域振興課	○第1回女性政策庁内推進会議を開催した。(7/22開催 しらおか男女共同参画推進会議と合同開催) 内容・第4次白岡市男女共同参画プランの施策推進のための取組にかかる平成30年度実績報告について ・男女共同参画講座(With You さいたま 出前セミナー) ○第2回女性政策庁内推進会議を開催した。(11/15開催 しらおか男女共同参画推進会議と合同開催) 内容・第4次白岡市男女共同参画プランの施策推進のための取組にかかる令和元年度事業報告(中間報告)について (一部、番号63と再掲)	○	-	A
66	指定管理者等に対する男女共同参画意識の啓発	男女共同参画や人権についての意識を高めるために情報提供、研修等への参加を促進します。	地域振興課	地域振興課	○7/18開催の人権・同和問題職員研修会に指定管理者の参加を募った。	○	-	A

主要課題3 庁内の男女平等施策の推進

番号	施策名	事業内容	当初担当課	報告課	令和元年度実績報告(内容・効果、実施日、参加者数、意識・配慮、反省点等) ※未実施の場合は、その理由を記入してください。	意識・配慮度		達成度
						①	②	
67	女性職員の管理職等への登用促進	庁内における方針決定過程への女性の参画を推進するため、昇任試験の受験奨励のための環境整備やプロジェクトチーム等への女性の登用を進めます。	総務課	総務課	○昇任試験受験対象者を中心に、昇任試験科目に見合う研修への積極的な参加を促した。 ○多様な人材が活躍できる組織づくりに向けて、総務課職員の研修参加も検討したが、参加できなかった。	○	○	C
68	男女平等を推進するための職員研修の充実	職員が男女平等の視点で職務を遂行できるよう、研修の充実と講座等の情報提供など参加の促進を行います。	総務課	総務課	○他機関で実施している研修について周知し、職員の参加促進に努めた。	○	○	B
			地域振興課	地域振興課	○県等主催の研修会、講座開催について情報提供した。	○	-	B
69	次世代育成支援特定事業主行動計画・女性活躍推進法に基づく特定事業主行動計画の推進	職員自らが男女ともに育児休業や部分休業の取得、年次有給休暇取得率の向上によりワーク・ライフ・バランスを実践し、より多くの女性職員が政策・意思決定過程に参画できるよう全庁的な支援体制や職場環境整備を推進します。	総務課	総務課	○育児休業等が取得しやすいよう、職員や職員の配偶者の出産にあたり、制度説明を行うとともに、環境整備に努めた。 令和2年3月31日現在の育児休業等取得者 育児休業13名、育児短時間勤務2名、部分休業7名(全て女性であり、男性取得者0名) ○年次有給休暇取得率の向上のため、機会をみて取得促進の通知を発出した。	○	○	B
			地域振興課	地域振興課	○男女共同参画パネル展において、情報提供を行った。 6/18～6/24市民ラウンジにおいて「日本の女性はどうか生きてきた？」を展示した。	○	○	B
70	職務・職場の固定的性別役割分担意識の見直し	職務・職場で固定的な性別役割分担が行われないう、職員等に対して継続的に啓発を行います。	地域振興課	地域振興課	○県等主催の研修会、講座等について情報提供した。 ○市民ラウンジにおいて男女共同参画パネル展を実施した。 「日本の女性はどうか生きてきた？」(6/18～6/24)、「荻野吟子の生涯」(7/23～8/2)、「男女共同参画の視点から考える表現ガイド」(9/18～9/27)、「知っていますか？デートDV」(11/14～11/25)、「災害と男女共同参画」(3/3～3/13)を展示した。 (一部、番号69と再掲)	○	○	B

主要課題4 男女共同参画を推進するための条例の整備

番号	施策名	事業内容	当初担当課	報告課	令和元年度実績報告(内容・効果、実施日、参加者数、意識・配慮、反省点等) ※未実施の場合は、その理由を記入してください。	意識・配慮度		達成度
						①	②	
71	男女共同参画推進条例(仮称)の検討	男女共同参画社会の実現に向けて、市全体の取組の姿勢をより明確にするとともにプランの実効性を高めるため、男女共同参画推進条例の制定に向けて検討を進めます。	地域振興課	地域振興課	○男女共同参画推進条例制定に関し情報収集を行っていく。	○	-	C